

今月の「未来へつなぐ」では、「ENTRANCEの動き」と「仮設住宅での取り組み」について書いてもらっています。



ENTRANCEついにオープン。11月16日(土)オープニングイベント開催!



追分駅前にできる ENTRANCE



内装の様子 (10月27日時点)

現在、復興ボラセンが取り組んでいるENTRANCEプロジェクト。JR追分駅前にある「旧宮内薬局」を「未来への入り口となるコミュニティ・スペース」へと生まれ変わらせるべく始まった事業ですが、ついにENTRANCEとしてオープンする日が「11月16日(土)」に決定しました。

ここに至るまでに、家主の方にこの場所の使用についての交渉を行ったり、残っていた家財の処分を行ったり、改修費用を集めるためのクラウドファンディングに挑戦したり。また「みんなでこの場所を作っていこう!」ということで、ENTRANCEの活用方法について地域の方を招いて意見交換をしたり、復興ボランティアの方々と一緒に改修作業を行ったり…。と、町内外問わず、たくさんの人がここに集まり、交流し、そしてそこから新しいものが生まれるような場所を作るため、全力で動いてきました。

11月16日(土)のオープン日には、セレモニーを開催しENTRANCEが「どういった場で、誰が使い、どんなことができるのか?」など、改めてこの場所の使い方についての説明をしたいと考えています。その後は参加者が体を動かして楽しめるコンテンツを用意し、頭と体でこの場所の使い方を感じていただけるような1日にできればと思っていますので、ぜひ足を運んでいただくと嬉しいです!

「集まる」「話し合う」「創り出す」の3つのコンセプトを持つ場所として、どんなことが起こっていくのか、ものすごく楽しみです!

オープンした際には、いつでもお気軽に立ち寄ってみてくださいね。



改修作業時の様子

札幌の大学生と仮設住宅でコーヒーを振る舞う

10月20日(日)札幌の大学に通う大学生2人が運営する「YAMAe COFFEE (ヤマエコーヒー)」が仮設住宅を訪れ、現在住まわれている方々にコーヒーを無料で提供しました。元々は「安平町のために何かしたい。自分たちのコーヒーで元気付けたい。」そんな思いがあり、YAMAe COFFEEを立ち上げたそうです。札幌でチャリティー販売を行い、そこで出た利益をもとに今回は安平町に来て、コーヒーを振る舞ってくれました。

2人から「こんな思いがあるのだけれど、どこで提供するのがいいのか分からない。」という相談を受け、復興ボラセンとしては「仮設住宅の談話室でコーヒーを提供したらどうか?」と提案をし、そのために関係各所とのやり取り、チラシ配り、当日の準備などの手伝いを行いました。

当日の談話室には町民の方数名が来てくださり、「こんなに美味しくてあったかいコーヒーが飲めて嬉しいよ。ありがとう。」と話していました。

YAMAe COFFEEの2人も「喜んでもらえて本当に良かった。こちら嬉しい。」と話しており、とてもあたたかい時間が流れていました。



YAMAe COFFEE の2人



温かいコーヒーに舌鼓

記事提供
編集・校正

安平町復興ボランティアセンター
安平町役場総務課情報グループ

(一社) 安平町復興ボランティアセンター

☎ 070-3139-0374 メール abira.fukkouborasen@gmail.com